

3DプリンターやIoT活用

ものづくり研究拠点

神戸大

神戸大学は新たなもの

転などに取り組む。

む。アシックス、住友

づくりの研究拠点「3D

略的イノベーション創

ム工業、バンドー化学、

スマートものづくり研究

センターは内閣府の戦

神戸工業試験場などが協

センター」を立ち上げた。

プログラムで、「革新的

力して素材開発に取り組

3D(3次元)プリンタ

設計生産技術」の採択を

むとともに、IoTを活

ーやあらゆるモノをネッ

つけた3つのテーマに取

用して、一人ひとりの運

トでつなぐ「IoT(イ

り組む。

動能力や癖に合わせたシ

ンターネット・オブ・シ

このうちの1つは、運

動シユーズを実現する。

ングス」を活用。効率

動シユーズをモデルに、

プロの運動選手やスポ

的なオーダーメイド型の

3Dプリンターでの成形

ーツを楽しむ一般の人に

設計・生産の仕組みづく

が難しいゴム製品のオー

センサーを付けてもら

りや、工作機械の自律運

ターメイド化に取り組

い、そのデータをシユ

ズの効率的な設計などに
生かす。介護用品や医療
用品などの分野にも応用
する考えだ。

工作機械関連では、設

計の初期段階で製品開発
に関する様々なデータを
組み合わせ、画面上でシ

ミュレーションできるシ
ステムを構築する。事前

に入力した加工用プログ
ラムによる指令で動かす
のではなく、加工中の工

具の位置や姿勢から自動
的に計算し、自律的に動

くようにする技術も開発
する。
センターは神戸市にあ

る神戸大学のキャンパス
の中に設置する。120

平方メートルの研究ゾーンのほ
か、企業や研究機関の関
係者を招いて成果を共有
するため、対外発信用の
スペースも設けた。